

Last Update
2005.12.17

[>ホーム](#) [>トラブルシューティング](#) [>お問い合わせ](#) [>サイト](#)
[>プライバシーポリシー](#) [>特定商取引に関する法律に基づ](#)

<The REAL English Text>

Feele
お申し込みはこちら

英語教材は嫌というほど買った。英会話スクールにも通った。英字新聞や、しゃべる辞書だって・・・もう私に英語は無理なのか・・・とあきらめかけている・・・だけどやっぱり来年こそ英語をマスターしたい！というあなたに、あと2週間限りの緊急のお知らせです。

「それにしてもこのメルマガと教材の威力はすごいものがありますね。気がついたら教材を始めてから数ヶ月が経ちます。三日坊主な僕がここまで続けられるとは。しかも、英語を読むことが苦ではなくなっています。」

Inner Circleメンバー、坂本さん

三日坊主だったと自ら語る坂本さんが、すでに数ヶ月も英語学習を継続できている理由を、あなたは知りたくないですか・・・？

しかも、「英語を読むことが苦ではなくなる」ほどの成果を、そんな短期間で出している方法とは・・・

その答えに興味がある場合に限り、この手紙はあなたが今

年読んだ中で最も重要な手紙となるでしょう。今すぐに続きを読んでください。この手紙を読むだけでも、あなたの英語力は飛躍的にアップするでしょうから。

来年こそは自由自在に英語を使いこなしたいと思っているあなたへ：

こんにちは、Feel English Inner Circle代表のKENZOです。

この手紙は、

・ 来年こそは英語を自由に使いこなせるようになりたい

というあなたの熱い願いを達成するお手伝いをさせてもらうために書きました。

ですので、はじめに断っておきますが、この手紙の目的は「売り込み」ではありません。

もちろん、この手紙を読んだ結果として、Inner Circleのメンバーとして僕やその他大勢の仲間とともに英語をマスターしていきたいと思ってくれたなら、これほどうれしいことはありません。

それは英語に対して真剣で、なおかつ僕の理念に共感してくれているということですから、新しい「仲間」としてあなたを大歓迎いたします。

そして必ず、あなたを一段高いステージに押し上げてみせます。

ただ、今は、この手紙はあなたへのプレゼントだと思ってください。

この手紙の内容は、僕が考える英語学習の全てを書いたといっても過言ではありません。

あなたが、いまだに英語ができない理由、その根拠、そしてその解決法、この3つのことが、書いてあります。

あなたがこれから英語を学び続けるに当たって、非常に的確な「地図」となってくれることでしょう。

だから、長くなってしまったのです。

しかし、もしあなたが本気で英語習得を望むのならば、あなたの貴重な時間を少しかけて、読む価値はあると確信しています。

そして困ったときはこの手紙を読んでください。何度も読んでください。印刷するのもいいでしょう。必ず、ブレイクスルーが起こりますから。

ただ、もし、内容に納得がいかないということがあれば、申し込まれる必要はおろか、読む必要すらありませんから、その時点でページを閉じてください。

あなたの貴重な時間を無駄にはしたくないですから。

さあ、それでは早速、読み進めてください。

はじめに、一つ質問をします。非常に簡単な質問です。

質問:なぜ、あなたは英語を習得したいのですか？

英語でニュースを見たい。

字幕なしで映画を楽しみたい。

海外の取引先とのミーティングできちんと発言したい。

英語のプレゼンがある。

海外旅行をしたとき、自分の思っていることをきちんと伝えたい。

英字新聞を読み、世界の動きをフォローしたい。

いろいろな思いがあるでしょう。英語を習得すれば、とても充実した人生が待っている。

それは、間違いではありません。

英語を習得した暁には、今では考えられないような世界が待っています。

しかし。

現実には、あなたにとって望ましくないものになっているのではないですか？

毎日毎日疲れているにもかかわらず、「一日に5分でもいいから」という話を信じて夜遅くまで机に向かう。

(いったいいつまでつづければいいのだろう…。)

テキストの指示に従って、テスト以外で使うことのない文法規則を念仏のように唱えながら必死に丸暗記。

(いったいいつこんな知識が生きるのだろう…。)

いつ使うかわからないような単語も毎日毎日丸暗記。

(いったいいつこんな単語を使えばいいのだろう…。)

移動時間も常に念仏を唱え、CDを聞き、単なるスラッシュリーディングが「ネイティブ読み」だと本気で信じ、まったく興味のない内容のCDを何回も何回も繰り返し聞いて、意味もわからずただひたすらに音読を繰り返す日々。

(なのに全く進歩した気がしないのはなぜだろう…。)

ちょっと苦痛になってサボってしまうと、途端に前にやったはずのところを忘れていることに気がつく。

(ああ、一昨日やったばかりなのに…。)

復習しているうちに全く学習が進まなくなり、自分はなんて記憶力が悪いんだろう、英語に向かない頭をしているんだろう、もっと小さいうちに外国へ行っておけばよかった、などと思いながらいつしかやる気もなくなる。

(教材が自分にあってないのかな…それとも勉強法が…。)

結果は散々、また新しい教材で心機一転頑張ろうと決意するけど、悲しいかな、歴史は繰り返す。

(もうやめた！ どうせ自分には英語なんかできないんだ！！)

…こんな経験、ないでしょうか？

何を隠そう、僕にはあります。

上でお話ししたのは、実は昔の僕です。

英語は大好きで、英語への憧れも人一倍強かった僕ですが、本当に、今思い出しても涙が出るくらい、結果が出ませんでした。

やってもやっても、いや、むしろやればやるほど、「英語」が遠くなっていくのを感じました。

覚えた単語は忘れる。覚えた熟語も忘れる。覚えた構文も忘れる。覚えた例文も忘れる。もう、覚えたことはその瞬間から忘れ始めているような有様でした。

「努力と結果は全く関係ないのではないか、結局英語はセンスなのではないか」と本気で思っていたほどです。

好きだったはずの英語が、嫌いになりかけたこともありました。物覚えが悪く、頭の悪い自分も嫌いになりました。

今、あなたもきっと、程度の差こそあれ、昔の僕と近いような生活をしているのではないのでしょうか？

ちなみに、僕は今では英語を教える立場になりました。

一方で。

あなたは、そんなに熱心に英語習得を望んでいるにもかかわらず、いまだにこんな手紙を読まなくてはいけないような英語力しかない。

僕はおそらくあなたよりも若い。

そして、頭もおそらくあなたよりよくないと思います。

そんな僕が、今ではメルマガも含めて3000人以上の人に英語を教える立場になって、その一方であなたはいまだに英語学習につまずいて、前に進めないでいる。

この違いはなんなののでしょうか？

せつかくですから、もっと、直接的にいいましょう。

なぜ、あなたはいまだに英語を満足に使いこなせないのですか？

なぜあなたはいまだに英語を使えないのか - 英語学習神話 7つの大罪 -

少し、今の話はきつすぎたかもしれません。気を悪くしてしまったのなら、謝ります。これだけは信じて欲しいのですが、決して、僕は自分の実力をひけらかしたいわけでも、あなたを馬鹿にしたいわけでもありません。

だって、ついこの間までは僕もあなたと同じ立場にいたんですから。

むしろ、あなたの気持ちは痛いほどよくわかるのです。

自分のふがいなさと、効果の出ない英語教材に、人知れず怒りを感じていました。

だからこそ、あえてきつい言い方をしたんです。

「なぜ自分はいまだに英語ができないのか」と問いかけ、その答えを理解することは、英語を習得する上で欠かすことのできない、非常に重要なことなのですから。

自分が英語を習得できない理由がはっきりし、それを改善できたなら、確実に英語ができるようになるのは、あたりまえですよ。

そんなわけで、今から、僕の予備校講師生活、そしてプライベートでの生活、さらにはメルマガの読者の方との関わりから得られた、「**あなたが英語ができない7つの理由**」を説明します。

今まで、本当にたくさんの「英語難民」の方たちの相談を受けてきました。

その数、延べ1000人以上。

それほどたくさんの方の話をふまえていますので、おそらく、あなたが英語をいまだに自分のものにできていない理由も含まれているはずです。

胸に手を当てて、自問自答してみてください。

必ず、思い当たる節がありますから。

では、準備はいいですか？

1. 教材が多すぎる

世の中には、それこそ何千種類もの英語学習書が出版されています。TOEICなどの資格試験対策本から、英会話でよく使えそうな例文集を集めた例文集、果ては学習カリキュラムをたてるための本や英語で日記をつけようと訴える本まで、それこそ多様な本がありますよね。

高額な通信教材もあります。

スーパーオルマーや、スピードオーニング、ヒアリングオーソンなど、いずれも半年で5万円前後する高額なものです。僕が持っているものだけでも20近くはあります。

最近ではネット上で、PDF型の教材も売られ始めました。こちらも100ページ前後で1万円～3万円程度と、比較的高額なものになっています。一体いくつあるのかは把握できていないのですが、僕はやはり20近く持っています。

さらには、各種英会話スクールなどが乱立していますよね。

ウサギさんが一番有名でしょうか、しかしそのほかにも10とか20とか、地域密着型のスクールまで入れればそれこそ100とか200はあると思います。値段に関してはピンキリですが、大体年間30万～150万くらいはかかってしまいます。

さあ、質問です。

どれが一番効果的でしょうか？あなたにぴったりでしょうか？コストパフォーマンスがいいでしょうか？

この、最も重要な問いの答えが、ちょっとやそつとじゃわからないほど、教材があふれているのが現在の日本です。こんな混乱した状態では、英語力獲得もままなりません。

2. 教材の内容がつまらない

「郵便局までの道を尋ねる」「図書館で本を借りる」「レストランでアイスコーヒーを注文する」「飛行機で毛布を頼む」などなど、いったいどうやって場面を

選んでいるのかわからない教材、多すぎます。

あなたが知りたい表現を使う場面なんか、ほとんどなかったんじゃないですか？（少なくとも僕はなかったです。）

しかも解説は受験用の参考書とほとんど同じ。

「不定詞を使った表現には3つの意味があり、これはその中の・・・。」「現在分詞を後置修飾で使うと・・・。」「仮定法過去における丁寧表現というものは・・・。」

こんなつまらない内容を学び、説明読んだって、眠くなるだけで、進歩は期待できません。

3. 文法を知らないといけないと思っていた

これは、ある意味では間違いではありませんが、今日本にある文法教育では全く意味がありません。

極めてフォーマルなスピーチ、ライティングを要求されている場合は覚えないとダメでしょうが、普通に新聞・雑誌を読み、テレビを見て、自由に会話をする、といった、日常生活をするうえでは、全く必要ありません。

だいたい、今も書きましたが、じっさいの場面で

「不定詞を使った表現には3つの意味があり、これはその中の・・・。」「現在分詞を後置修飾で使うと・・・。」「仮定法過去における丁寧表現というものは・・・。」

などと考えて英語を使う暇があるのでしょうか？

一体いつそんなことを、僕らが日本語でしているのでしょうか？

繰り返しますが、もし文法教育が現状のままであるならば、その文法は、あなたにとっては無意味であるばかりか「有害」です。

4. 「聞き流すだけ」という言葉を鵜呑みにしてしまった

これは、通信教育にありがちな殺し文句です。

「1日たった15分！聞き流すだけで一ヵ月後には口から英語が出てきます！！」

なんて、あるわけないじゃないですか。

このことに関して、米国が誇る名門中の名門、イエール大学の大学院でコミュニケーションを専門に教鞭をとっておられるウィリアムヴァンス博士が、非常に明快な指摘をしてくださっています。

博士は日本での講演も少し行っており、早稲田大学などでも講演しておられる方です。

以下、博士の見解です。

「こんにちは、ドクターヴァンスです。今、日本にきています。日本滞在中にすることのひとつに、市場の英語教材を審査することがあります。

ものすごい数の本、CD、イーラーニングが溢れていて、どれを選んで良いのか解らず、結果的に最も巧みな宣伝文句の物を買っていたというケースも、案外多いのではないのでしょうか。

率直にいうと、首をかしげてしまうプログラムが相当あります。

特にショックを受けたものの中に、英語を聞いているだけで、みるみるリスニングが良くなるとか、自然と英語が喋れるようになるといった教材があります。

残念ながらこのようなことは12歳以下の子供にしか起こりません。

確かに12歳以下の子供は、耳から言語を学んでいくのです。

しかし大人の言語能力獲得は、そのような訳にはいきません。

最も早い上達法は、言語を生産するという創造的、能動的なスピーキングと英語思考だと実証されています。

この組み合わせで、リスニングを含めた他の英語能力も飛躍的に進歩します。

それに対してリスニングと試験のため文法学習といった組み合わせでは、スピーキング能力の向上をあまり望めません。」

(博士のメルマガ『ビジネス勝者の英単語』より抜粋)

博士は、極めて科学的に英語学習を研究されている方です。

その博士がおっしゃるように、「聞き流すだけ」などという学習法は、睡眠学習と同じような程度の効果しか、我々大人にはもたらさないのです。

5. とにかく多読・多聴が大事だと思っていた

これもまた、ある意味では間違いではありませんが、おそらくあなたにとっては効果は薄いでしょう。

多読・多聴が極めて重要なのは、「詰め」の段階です。

「苦手」とか「なんか進歩しない」とか「どのような学習法がいいのかわからない」などという時期にやるべきことではありません。

考えてもみてください。

日本語のろくにできない子供に、もしくは外国人に、いきなり朝日新聞を毎日読め、わからなくてもいいから読め、NHKのニュースを毎日2時間聞け、わからなくてもいいから聞け、なんて、言いますか？

そんな日本語学習法、効果的だと思いますか？

しかも、意味もろくにわからないような新聞やニュースを、毎日毎日読んで、聞くことなんて、われわれ思考力のある大人にできるでしょうか？

それと同じくらい効果がなく、継続も不可能で、あまりに乱暴な議論が、この「とにかく多読・多聴」という議論なのです。

6. 教材に載っていた例文をそのまま使ったのに通じなかった

これは、ある意味で当然です。

教科書的な英語と、実際に話されている英語、書かれている英語は大きく異なります。

それに加えて、通常大きな業者が教材を作る場合、一気に大量生産しますから例文が何年も何年も変えられることはありません。

中には、ネイティブからみたらまるで使わないような、時代錯誤な例文も多く含まれているのです。

特にアメリカは、今の日本の若者言葉よりもたくさんの言葉が作られ、そして消えていっています。

去年使っていた表現が、今ではもう聞かない、なんてこともざらにあるのです。

極端に言えば、「新聞とって」という一言が、「新聞を取ってくださいませぬか」のように聞こえることもあるってことです。

文法的にも完璧、しかも現代では使われていない表現。これでは通じるものも通じなくなってしまうことだってありますよ。

7. ネイティブの先生に習えば大丈夫だと思っていた

これは日本人が一番勘違いしているところです。

こう思いたくなる背景には、まず第一に、「英語が母国語の人のほうがいいに決まっている」という無根拠な発想、そして第二に、「発音がよければ通じるのではないか」という安易な妄想があります。

一つ目に関してですが、これは完全に逆です。

それを理解するためには、こんな質問を自分にしてみてください。

「もし、とても大切なアメリカ人の友人に日本語を習わせたいとき、渋谷のスクランブル交差点でたむろし、しゃがみこんでいるお兄ちゃんお姉ちゃんに積極的に先生をお願いするか？」

非常に悲しいことですが、ほとんどの日本で英語を教えているネイティブスピーカーの英語力は、渋谷のスクランブル交差点でたむろし、しゃがみこんでいるお兄ちゃんお姉ちゃんの日本語力と大して変わりません。

そりゃあそうです。

母国でろくな仕事にもつけないような外国人が、「英語はできないけど金だけは持っている日本人の話し相手をするだけでお金がもらえるよ」という謳い文句とともにやってきているだけなんですから(もちろん、素晴らしい先生もいますが)。

アメリカの本屋にいけばわかりますが、「日本の英会話スクールで大金持ち」なんて本がいくつもありますよ。

そんな外国人に習っても、その程度の英語力しかつきません。

「先生」とは名ばかりで、彼らは単なる外国人です。それ以上でもそれ以下でもありません。

また、もう一つ重要なことがあります。

これは世界をまたにかけるビジネスコンサルタントとして活躍され、今はラジオ、テレビ出演、本の出版などにも大忙しの、ショーン・マクアードル・川上氏が講演会のときに言っておられたことです。

「日本人が英語を学ぶなら、絶対日本人。外国人は、日本人と日本語、そして日本文化を知らなすぎて、結局どうやって日本人のメンタリティーを英語で表現するのか、どのような学習法が合っているのかを理解できないからだ。」

非常に、的確な指摘だと思います。

日本語も英語も母国語並みに操れる彼ならではの、鋭い指摘です。

そう、結局大人の日本人として出来上がってしまった我々が、本当に求めていることは同じ日本人にしか理解できないということです。

これに関連して、「でも日本人じゃ発音が」という不安があるのもよくわかります。

しかし、ネイティブは「発音」で英語を聞いているわけではありません。

いくらきれいに発音したって、通じないものは通じないです。これは、意外かと思いますが、本当です。

発音の訓練をして、試してみると、すぐにわかりますよ。

聞き返される回数は、全く変わらないか、むしろ増えますから。

このように、「ネイティブに習えば発音もよくなるし、ネイティブっぽい表現も学べるし」と考え、安易にネイティブの先生に習うのは、あなたの進歩スピードを遅くするばかりか、あなたの英語の質を落としかねないほどに非常に危険なことなのです。

さて、どうでしょうか。

英語学習7つの大罪、あなたがいまだに英語に苦勞している理由として、心当たり、あったでしょうか？

あなたがこれからの学習で気をつけなければならないことは、この7つの大罪に陥らないことです。

そんなこと言っても、じゃあ一体何をやればいいのか？

「英語学習」というのはあなたもご存知の通り、大きく分けて2種類あります。

一つは、ひたすら多読・多聴派。とにかく継続することによって「ネイティブのような英語力」を求める。

もう一つは、とにかく文法から派。とにかく暗記することによって、「ネイティブのような英語力」を求める。

このふたつなんですが、これはもう、7つの大罪のど真ん中に行く学習法ですよ。

残念ながら、今まではこの二種類しか学習法が存在していませんでした。ですから、僕や、あなたが英語学習のドツボにはまり、苦しみ続けたのです。

…今まではね。

しかし、実はいまや全く新しい、第3の道があることを知っていましたか？

7つの大罪に陥ることなく、極めて効果的に、また極めて楽しく、しかも苦痛もなく学習を続けられる、全く新しい方法が。

この第3の道は、悲しいことにまだ日本で知っている人は少ないです。実践している人は、もっと少ない。せいぜい3000人程度でしょう。

しかし、実践している人からは、それこそ今までにはなかったような成果が次々と報告されているんです。

論より証拠、少し彼らの声に耳を傾けてみましょう。

「私は学生時代から英語が苦手で、英語を読むことが苦痛で、市販の教材は沢山持っているが最後まで読んだことがなく、リスニングすると眠ってしまうほどの英語音痴ですが、こんな私でも次のような効果がありました。

- 解説が丁寧で話しかけるような文章なのでついついのめり込んで最後まで読んでしまう。
- 英語を頭の中で絵にしながら読めるので読んだ内容が意外と頭に残っている。
- 無味乾燥な理屈をイヤイヤ暗記するのではなく、ネイティブの思考のまま学習するので頭が疲れない。

今度こそはものにできそうな気がします。

KENZO先生の教材は家宝にして、妻と3歳になる娘にも教えてあげようと思っています。」

A.Nさん Inner Circleメンバー

「まだ拾い読みをただけですが、I go to school.のところの冠詞、無冠詞のお話は、おおー！って、感動しました。ほんと、今まで、「学校に行く」だと信じてましたから。何でこんなにぴったりと解りやすく解説できるんだらう？参考書に書いてあるのと何が違うんだらうと思いました。たぶん、本にない言葉が挿入されているんだなあ、しかも効果的に。凄いですね。なんか、英語の学校が、子供用で、体力勝負なのに比べると、大人の習得法と言う感じがします。」

手塚さん Inner Circleメンバー

「英文を読むという目的なら、これ以外に無い！という感じです。楽しく、なるほどふんふんと、すんなり納得出来ます。ポン ポン → イキイキ ぴよよよ～～んですもん。英文を読むのが楽しくなってきました。」

十河さん Inner Circleメンバー

「とにかく毎回発見があって楽しいです。留学中に感じた、英語で考え英語で話す感覚を日本で学べるとは！と思いました。3回目の教材ですが、自分の英語学習が変わってきたと思います。いやーこれが一年も続いたら、顔つきまでネイティブになりそうです(笑)日本語がカタコトになるぐらい英語に邁進したいと思えます。」

森末さん Inner Circleメンバー

「英語を感覚的に捉えることができ、今までよりも英語を身近に感じられるようになってきた気がします。近い将来、英語を「使える」ようになれそうで、楽しみです。」

大島さん Inner Circleメンバー

みなさん、短期間で素晴らしい成果を上げておられるそうですね。

「英語感覚」って、何？

もう、お気づきでしょうが、この「第3の道」というのは僕が提唱する「英語感覚の獲得」という道です。

しかし「英語感覚」とは一体何なのか、獲得するとどんないいことがあるのか、今までの学習法とは何が違うのか、などまだよくわからないでしょうから、少し説明させていただきます。

この「英語感覚獲得学習法」を一言で表現するなら、

「文法を、文法用語を一切使わないで体に染み込ませ、ネイティブが感じているような英語の世界を感じられるようにする」

ということになるでしょうか。

僕の立場は明確です。

「本当の意味での」英文法を「正しい」形で獲得することが最短である。

英文法は、いってみれば言葉を生み出すエンジンです。

今この日本に存在している英文法は、「ネジ」「ナット」「オイル」「ビス」「バルブ」・・・などと「エンジン」をバラバラに分解し、それらを一気に渡されているのと同じようなものです。

エンジンは、エンジンとして受け取らないと、普通使い物になりません。

バラバラがうれしいのは、一部のマニアだけ。

彼らはエンジンそのものに興味があるわけではなく、その「部品」や「仕組み」に興味があるのです(いわゆる文法学者)。

しかし現在の日本の英語市場というのは、完全に「マニア向き」の教材しか生産しておらず、しかもそれを強制するのです。

もうお分かりの通り、エンジンはエンジンのまま、完成した形のまま、手に入れることがきわめて重要になってきます。

これを可能にしたのが、この「英語感覚の獲得」なのです。

英語感覚が身につき、英語を、まるでネイティブのように捉えることができるようになると、例えば以下のようなことが起こります。

- 英文が、「文字」ではなく、「絵」として、そして「映像」として浮かんでくるようになる。
- リスニングにせよリーディングにせよ、2割の内容をつかむことで、8割の理解をすることが出来るようになる(これは日本語で我々が普段行っていることです)。
- 「熟語」などというものは存在しないということがわかり、全て「自分で」作り出せるようになる。
- 暗記した例文以外の、アドリブ会話に非常に強くなる。
- 自分の本当に言いたいことが、自分の言葉として、表現できるようになる。
- 「読むための勉強」「聞くための勉強」などという金儲け主義の不毛な区別から解放され、あらゆる英語力の下地となる力を得ることが出来る。

これらのことは、効果のほんの一例で、メンバーの方から最も多くいただく喜びの声をもとにして挙げました。

しかもすごいのは、この効果を、早い人では1ヶ月、遅くとも3ヶ月で感じ始めているという事実です。

「でも、なんでこのやり方がそんなに効果的ななの？」

って思われましたか？

正直なところ、僕も本当にどうしてここまで誰にでも効果が出るのか、わかりませんでした。

「もしかしたら、たまたま自分に合っていただけなのかもしれない」

という疑念が、僕の中には根強くあったのです。

ですから、ここまでたくさんの方が効果を実感されていることに、一番驚いたのは、ほかならぬ僕なのです。

しかし、その後、効果を実感されたいいろいろな方に聞いて回ることによって、どうして効果があげられたのか、大体わかってきました。

じつは、結局のところ、その理由は一つしかなく、それも「言葉」を学ぶ上で当たり前のことでした。

それは

「人間が言葉を使うときには、感情の動きがある。何かを伝えたいから何かを言うし、書く。何か情報が欲しいから、話を聞くし、本を読む。結局、人間の言語活動を理解するためには、その言葉を生んでいる人間の「感覚」を理解しないと話にならない」

という文に集約されるのです。

違いますか？

僕らは、間違っても「丸暗記した例文で」コミュニケーションをしているわけでもなければ、「丸暗記した文法で」文を組み立てているわけでもありません。

「なんとなく昔聞いていたけど意味のよくわからない日本語」をしゃべっているわけでもなければ、「格調高い流麗な日本語」のみを操っているわけでもないのです。

それらは、「感覚」に裏打ちされていない、いわば「死んだ」言葉。

抜け殻であり、残骸です。

それは、当然ながら英語だって、全く同じことが言えるのです。

先ほど登場していただいた、イェール大学大学院のヴァンス博士は、

「最も早い上達法は、言語を生産するという創造的、能動的なスピーキングと英語思考だと実証されています。この組み合わせで、リスニングを含めた他の英語能力も飛躍的に進歩します。それに対してリスニングと試験のため文法学習といった組み合わせでは、スピーキング能力の向上をあまり望めません。」

と断言されていたのを、覚えていますか？

世界の最先端、イェール大学でコミュニケーションを専門に研究しておられる教授が、ここまで断言しているんです。

それほど従来の学習法は、我々が求めるものからは程遠く、「言語を生産するという創造的、能動的なスピーキングと英語思考」、すなわち「英語感覚」は効果的なものなのです。

あなたが今、本当にすべきことは何か？

さて、そうは言ってもまだ満足に使いこなせない英語。

できるようになるには、あなたに合った、よい教材が必要であることは言うまでもありませんよね。そこには同意してもらえと思います。

ですから、あなたが今すぐにすべきことは、単語の暗記でも例文の暗記でもなく、「あなたに合った、本当に効果的な教材を手に入れること」なのです。

もう既に持っているのであれば、それで学習することが最善でしょう。すぐに

効果が出るはずです。

しかし、

- (1) 何だか今の教材で勉強する気が起きない。
- (2) 何だか今の教材は楽しくない。
- (3) もうかれこれ1ヶ月以上使っているのに、効果が実感できない。
- (4) とにかく暗記を強いてくる。
- (5) 「7つの大罪」のどれかにひっかかっている。

ような教材を使っているのだとしたら、それは大変なことです。

あなたはこれからも未来永劫苦勞し続け、それでいて満足のいく効果、結果が得られないということになってしまおうでしょう(し、それはあなた自身が、一番感じているはずです)。

最低限、上に挙げた(1)～(5)に当てはまらない教材を探してください。

今すぐに、ですよ。

このページを閉じてもいいですから、今すぐ検索エンジンなどでさがしてみてください。あなたのこれからがかかっています。

「今、探してみたけど、そんな教材、どこにもないじゃないか！」

あ、お帰りなさい。

「探したけど、なかった」というのは、あなただけが抱いた感想ではないですよ。

僕も思いました。

だからこそ、僕は自分で作ったんです。

僕が作った教材は、上の(1)～(5)のいずれにも当てはまりません。

しかも、あのヴァンス博士が「最も効果的であると実証されている」と断言されたような、「英語感覚の獲得」に特化しています。

それは、僕がごちゃごちゃ言うよりも、メンバーの方に語ってもらいましょうか。

「英語教育界のキリストですね。
英語感覚を形成することが文法や単語のまえに先決というのがやはり正解のようです。(いままでは、英語感覚形成をターゲットにした明示的教育がなかった)」

瀬々さん Inner Circleメンバー

「正直最強です。英語に関して満足したPDF教材はこれがはじめてです。」

加納さん Inner Circleメンバー

「最後まで拝見し、感動しました。これからも宜しく願い申し上げます。」

西村さん Inner Circleメンバー

「教材も一気に読ませていただきました。いつもながらの分かりやすい説明で感動しました。英語もこのように読んでいけば、

理解できるのですね。少しずつですが、感覚がつかめたような気がします。繰り返し読んで、次回の教材に備えていこうと思います。」

扇谷さん Inner Circleメンバー

「KENZOさんは読解用の方法を公開されているようですが、私は苦手だったスピーキングでとても役に立っています。ありがとうございます！ Inner Circle万歳！」

Rさん Inner Circleメンバー・アメリカ在住

「目から鱗とは、こういうことをいうのかと思いました。」

鈴木さん Inner Circleメンバー

「もうstop smokingとstop to smoke も間違えたくても間違えないです☆有難う～って叫びたいくらい、今嬉しいです。知の欲求が満たされた喜びつつうんでしょうか！？(笑)だから顔も朝から半笑いです(爆)KENZOさんみたいに、わかりやすく、教えてもらえると本当に勉強は楽しいです。もやもやしてたことがすっきりすると本当に嬉しいです。この間のサル解によるmade ofとmade from もあの日以降、迷いはなくなりましたよ。KENZOさんに教わっている予備校生はすごい幸せもんだと思いますよ。マジで。私も本気で生徒になりたいと思っています。(マジ)」

鳥飼さん Inner Circleメンバー

「今までどんなに薄い教材本を買っても最後まで目を通した事がなく、挫折しておりましたが、この教材は「えっ！もう最後のページ？」って思うくらい集中して読む事が出来ました。私にとっ

て完読出来た事が信じられない事なのに、「もう一度読んでみよう」って思っている自分には更に驚きです。KENZOさん信じて1年間頑張ってみようと思案致しましたので、宜しくお願い致します。」

柳さん Inner Circleメンバー

「第一回の教材も期待通りの量でした。しかし、読みやすさ抜群がゆえその量を感じさせません。今回の教材購入は、KENZOさんの語り口調にほれたという面も大きいです。今までの市販の教材は買ったら終わり。買ったら勉強した気になっていつの間にか1年経って教材にはホコリが・・・。

今までの英語教材は中身は素晴らしくても重要な何かが欠けている。それはいくつかあると思いますが、とりわけポイントなのが継続して続けられるか否かだと強く感じていました。そして、本当に英語を身に付けたい人々の味方KENZOさんの教材は、1年間かけてインターネットを用いた分割配信方式。1年間という具体的期間によりゴールを明確にし、我々「英語難民」(＝使えない文法に思考回路を占領されてしまった人々)をKENZOさんが定期的に鼓舞し続けてくれる。画期的すぎます。次回の教材配信も楽しみにしております。」

藤井さん Inner Circleメンバー

「とにかく楽しい！最初に例文を見た時には、私のレベルではちょっと難しい、と思ったのですが、KENZOさんの解説はわかり易く且つ面白いので、あっという間に読み終えていました。」

関口さん Inner Circleメンバー

「今までの参考書と全く違うタイプです。これからの新しい英語教育を示すものと言えましょう！コツコツ続けるのが嫌い(できない)な私に、なにか、少しの光がさしています。マンガや小説感覚で読み進めれることができ、非常に良いです。」

木野さん Inner Circleメンバー

まだまだありますが、この辺でやめておきましょう。

それにしても、英語教材の感想で、「とにかく楽しい」「面白い」「漫画や小説みたい読み進められる」なんて、普通じゃ考えられませんか？

楽しく、継続できて、しかも効果がすぐに実感できる。

全く嘘みたいな話ですが、でも、この教材ではこれが「普通」です。

僕はこの教材を購入してくれた方たちを「お客様」ではなく、Inner Circle(正式にはFeel English Inner Circle)の「メンバー」として、ともに英語を学ぶ「仲間」として迎え入れることにしています。

互いに切磋琢磨しあう、良き英語仲間です。

さて・・・率直にお聞きしましょう。

あなたはInner Circleのメンバーになることに、興味はないでしょうか？

一日114円は、果たして高いでしょうか？

冒頭でも言いましたが、僕はこの教材を、あなたに「買いなさい」と命令しているわけでもなければ、「買って下さい」とお願いしているわけでもありません。

それは、そんなことをするメリットがお互いにはないからです。

英語に対して真剣で、なおかつ僕に共感してくれる人だけ、仲間として迎え入れたいというのが僕の本心なのです。

僕のこの教材は、一年間で39800円(税込み後41790円)。

この値段が高いのか安いのか、使ってみて効果を実感してみないとわからない、というのが正直なところだと思います。

ですが、1日に直せばたったの114円。

缶コーヒー1本分にも満たない額です。

そして何より、今までの実績から確実に「安い」と思わせるだけの確信があります。

なぜなら、メンバーの方が(皆さん、もともとはあなたと同じように英語学習という暗闇の中を手探りでさまよい続けていた方たちだったのですが)口をそろえてそうおっしゃってくださるからです。

「今までに無い、斬新な視点からの英語教材だと思います。私自身、アメリカでの生活が約2年経過したにも関わらず、相変わらずの英語力にかなり落ち込んでいました。英語に対して追い詰められているという心境でしたが、この教材を読み始めてから少し気持ちに余裕が出てきたような気がします。

今までのいわゆる英語教材に満足できなかった全ての人に試してもらっただけの価値はあると思います。」

橋本さん Inner Circleメンバー

「とにかく単語のもつイメージの書き方がものすごく分かりやすく感動です。今までは英文を見てそれを「和訳」するのに必死だったのですが、KENZOさんの説明を聞いた後で読むとその光景が写真というよりも立体的に浮かんでいきます。もうカイカンとしか言いようがありません。」

柴原さん Inner Circleメンバー

「みんな海外に住んでいれば英語が話せる様になると思ってますよね。

私の場合お恥ずかしい話しながらニューヨークに住んでいながら英語がまともにしゃべれませんでした。アメリカ人の主人と結婚してはや3年以上が過ぎてしまい、半ば途方にくれていたところでこの教材と出会いました。

教材と合わせてメルマガでも勉強させていただいていますが、一ヶ月くらいたったころでしょうか、急に英語がスラスラと口から飛び出てくる様になったのには驚かされました。

今では英語がしゃべれる様になったのを良いことに思いっきりニューヨークでの生活を満喫しています。

こんなにすばらしい教材を作ってくれて、本当にありがとうございました！！」

みるるんさん Inner Circleメンバー・ニューヨーク在住

「とにかく解説がわかりやすくて、おもしろい。最初英文を読むと、ちょっと難しいかな、と思っても、KENZOさんの解説を読んでいくうちに、すーっと内容が頭に入ってくる。英文も高度だし、分量だって決して少ないわけじゃないのに、始めだすと、どんどん引き込まれていくのがわかる。英語をイメージや感覚で学ぶ楽しさ、やめられません。」

谷口さん Inner Circleメンバー

「このような学習方法があったなら、もう少し早く知ることが出来たらなと。教材が届くのが待ち遠しい。繰り返し学習するのが苦にならない。楽しく学習できる教材に出遭ったことを友達に奨めたい。」

古田さん Inner Circleメンバー

「いつも最高の教材有難うございます。

人に勧めるとしたら(ちょっとせこいですが、ほんとは勧めたくないんですけど)、「最強の教材してるけど教えて欲しい？マジで英語が感じれるようになるし、これで出来なかったら何やってもあかんやろから、有る意味最後のチャンスやけどね」と、勧めながら自分でもそう思ってます。」

YUZUさん Inner Circleメンバー

「第一回教材は既にいただいて張り切って読んでいます。すばらしい教材をほんとうにありがとうございます。一年後にすばらしい結果が出るようにがんばろうと思います。」

平澤さん Inner Circleメンバー

「教材、内容、濃いですねー。復習が沢山含まれているので、忘れていたこと(by)も思い出せました。また、新しい内容では、notが衝撃でした。これを知っているのといないのでは、えらい差ですね。自分がいかに、意味を勘違いしていたかがわかりました。」

春日さん Inner Circleメンバー

「やっぱり楽しい！です！英語の勉強を、こんなにもわくわくした気持ちでできるなんて・・・感動です！感謝感激です！お忙しいのにきめ細やかに対応して下さる事にもかなり感動しています。本当に本当にありがとうございます！」

郷野さん Inner Circleメンバー

一部ですが、メンバーの方の声をご紹介させていただきました。

誰にでも、確実に結果が出るのだとしたら、たとえ20万円でも安いですよ
ね。

「でも、本当に誰にでも確実に結果が出るの？」

ええ、それは当然の疑問です。

これほど世の中に「誰でも確実」などといいながら実際にはほとんど効果の
ない教材があふれていますからね。

僕の教材の場合は、上に挙げたメンバーの方の声が最大の証拠になります。

ただ。

これらはもちろんホンの一部の声なので実際にはもっともっと届いているの
ですが、実は、正直に言います、100パーセントのメンバーの方が満足さ
れているわけではありません。

今まで、退会を申し出てこられた方が、4名ほどいらっしゃいます。

確かに1%にも満たない数字ではありますが、あなたがこの1%に入らない
保証は、どこにもないのです。

また、

1. ろくに努力もせずに、ペラペラ話せるようになる。
2. ろくに努力もせずに、スラスラ読めるようになる。
3. ろくに努力もせずに、サラサラ書けるようになる。
4. ろくに努力もせずに、スイスイ聴けるようになる。

という、誰しものが抱く願望を満足させることは、決してありません。

ですから、

「99%の人が満足していて、しかも望むような結果を得られているならきっと

大丈夫なんだろうけど、もしかしたら私が5人目になるかも」

というあなたの不安は、とてもよく理解できます。

もし、この教材に興味がないのであればそれはそれでしょうがないのですが、興味はあるのに、その不安のせいで一歩が踏み出せないのだとしたら、これほどお互いにとって残念なことはありません。

そんな残念な事態を避けるために、僕は、個人的にあなたと二つのお約束をしたいと思います。

あなたとのお約束

1. 私は、あなたがこの教材を使ったならば、あなたの英語力がわずか1年の内に飛躍的に向上することをお約束します。それも、苦痛を伴う従来のような「用語暗記」ではなく、「ネイティブの気持ち」「英語の気持ち」をあなたの中に刷り込むことで、英語が非常に身近になり、その結果英語を使うことが苦でなくなることを保証します。
2. もし上記1の約束を果たせないとあなたが判断された場合、業界では異例の120日間の長期期間を設け、あなたがお支払いした41790円全額返金することをお約束します。120日間、あなたがこの教材の通りに勉強したのに何も得られるところが無い、これからも得るものが無い、という結論を出されましたら、僕にその旨連絡してください。理由追求やわずらわしい言い訳をすることなく、あなたの払った代金を全額返金することを保証します。返品義務もありません。そのまま持っていてもらってかまいません。あなたは、一本メールするだけでよいのです。

完全結果保証 & 全額返金保証です。

しかも、120日という異例の長さ。それだけ、自信があるということでもありますし、あなたに精神的な不安を感じさせたくないということでもあります。

「一体、どんな教材なの？」

まず、内容は、全部で20テーマ。PDF形式のファイルが週に1~2回ほどあなたのメールボックスに届き、1カ月で1~2テーマ完結します。で、一年で全てが完結します。それぞれのファイルは大体30ページ前後といった感じ。

ほぼ全てのやり取りはパソコン上で行われますので、別途送料が必要となることはありませんし、仮になったとしても、基本的にこちらが負担させてもらいます。

もう少し具体的に、5つ極めて重要な特徴がありますので、説明させてください。

1. 週刊教材である。

わざわざ週刊にしたのには、わけがあります。

普通、英語教材というのは月刊です。

でも、月に一回しか送られてこないと、どうしても継続が難しいんですよね。前の内容とか忘れてるし、どうしても部屋の隅っこや押入れの奥でホコリをかぶりがちになってしまいます。

ですから僕は「週刊」にしたんです。

実は、この教材ももともとは月刊の予定だったのです。ですが、「ちょっとずつ、こつこつ続けたい」「以前月刊の教材を購入したが全く続かなかった」「一気に大量に送られてくると圧倒されてやる気がなくなる」などの意見が結構ありましたので週刊にしました。

2. 会員の方の意見が、柔軟に、リアルタイムで教材に反映される。

学習を進めるにつれて、「この教材のここがこうなったらもっとやる気が出るのに」「こんなテーマの英文が読みたいんだよな」などの意見は当然でできます。

全く興味のない英文、全く現実味のないシチュエーション。そんな勉強、楽しいですか？

好きなもので勉強しないと、どうしても続きません。

ので、これも普通ではありえないんですが、僕の教材は常に会員の方の意見を取り入れながら進化しています。

「自分の好みの教材になる」とあつては、継続もしやすいですよ？

3. 使用されている英文が、常に最新のものにアップデートされる。

そもそも英文はTIME、NEWSWEEKを初めとする英語の雑誌、英字新聞、ペーパーバック、アメリカのビジネスマン・経営者向けニュースレター、そして僕のところに来たe-mailからすら取っています。

まさに、「今」の英語です。

その他の、いったいいつの英文なのかわからないような英文が網羅されている教材とは違って、今普通に使われている英語のみを厳選してあります。

しかし、これが僕と、この教材の限界だなんて、絶対思わないでくださいね。

先ほども言いましたが、言葉は、我々が生きている以上、生きているのです。

常に最新の英文に触れていただけるよう、英文のアップデートは随時行っています。もちろん、過去の教材に関する英文のアップデートも、メールにてお知らせしています。

このようなこまめなフォローアップも、欠かしません。

4. 文法用語は、一切使わない。

そしておそらくは最大の特徴として、「文法用語を一切使わない」ということがあります。

文法用語。

当たり前なんです、これは日本語です。

つまり、「文法用語を暗記する」ということは「日本語の勉強をする」ということを意味しています。

そう、今まであなたは日本語の勉強をするために英語教材を買わされていたんです。

こんなバカな話がありますか？

英語を使いたければ「英語を」勉強しましょう。

ネジばかり見てないで、エンジンそのものを見ましょう。

しかし、どこかの会社が言うように「文法を全て無視してとにかくリスニングと例文暗記と音読だ！！」ではあまりに愚かでしたよね。

あのヴァンス博士も真っ向から否定しているやり方です。

これも文法用語の暗記と同じくらい効果がないし苦痛です。

この教材は、文法用語なんか使わなくても「英文法」が理解できる、不思議なんだけどもある意味では当たり前なのが可能になる教材です。

僕らは「連体修飾格」とか「格助詞」とか意識して日本語を話すことはないですが、「日本語文法」は無意識のうちに染み込んでいるのです。

それは英語のネイティブも同じ。

彼らは文法用語なんか知りません。

知りませんが、きちんと「英文法」が体に染み込んでいます。

そしてその「英文法」は「文法用語」なんか使わなくても獲得できる、いや、使わないほうが簡単かつ正確に獲得できるものなのです。

5. あなたが「英語感覚を獲得する」という目的に絞って作られている。

この手紙でも何度も言っていることですが、英語感覚を獲得することが、何よりも重要なことです。

それは、英語マスターへの最短経路であり、最善の経路でもあるのですから。

例えば、英語感覚を身につけてしまえば

- ・「ネイティブらしい表現」が、なぜネイティブらしいのか理解でき、それを自力で生み出すことができるようになる。
- ・ネイティブの気持ちにシンクロする、自然な英語でコミュニケーションが取れるようになる。

- 巷にあふれる、余計な英語学習法や教材に振り回されることがなくなる。
- 「間違っていないのに通じない英語」をしゃべることがなくなり、確実に通じる英語だけをしゃべることができるようになる。

などといったことが、当然のこととして、できるようになります。

先ほど言った

- 英文が、「文字」ではなく、「絵」として、そして「映像」として浮かんでくるようになる。
- リスニングにせよリーディングにせよ、2割の内容をつかむことで、8割の理解をすることが出来るようになる(これは日本語で我々が普段行っていることです)。
- 「熟語」などというものは存在しないということがわかり、全て「自分で」作り出せるようになる。
- 暗記した例文以外の、アドリブ会話に非常に強くなる。
- 自分の本当に言いたいことが、自分の言葉として、表現できるようになる。
- 「読むための勉強」「聞くための勉強」などという金儲け主義の不毛な区別から解放され、あらゆる英語力の下地となる力を得ることができる。

といったこと以上に、もっともっとネイティブに近づくことができます。

もちろん、これは人を選びません。

だって、ネイティブ並みの英語感覚が身につけているのに、ネイティブのように英語が使えないなんてことがあるわけはありませんから。

あなたは上に挙げたこと以外にもいろいろ手に入れられるでしょう。

字幕なしの映画ライフを送るのもよし、歌詞カードなしの洋楽ライフを送るのもよし、英会話スクールなどで優越感に浸るのもよし。

まさに、可能性は無限大であるといえるでしょう。

そんなことを可能にする教材が、今あなたの目の前にあるのです。

「それで結局なんなのさ？」

さて、ここまで長々とこの教材について説明してきました。

興味がなければここまで読んでいないでしょうから、あなたは興味があるのだと思います。

先ほども言いましたが、もう一度お聞きします。

Inner Circleのメンバーになることに興味はありますか？

繰り返しになりますが、僕はあなたに「買ってくれ」と思っているわけではありません。

ただ、もしこの教材に興味があって、メンバーになることを迷っているのなら、今日から120日間、タダで勉強してみませんか？と提案しているのです。

上述の通り、この教材には120日は完全効果保証、全額返金保証がついています。

つまり、あなたはタダで4ヶ月もこの教材を使って勉強し、しかもメンバーとしていろいろな要求を僕に出すことができるのです。

それほど僕と教材を使い倒して、期待する効果が出なければ、僕は速やか

に全額返金することを誓いました。

利用しない手があるでしょうか？

「そうは言っても、全く何が書いてあるのかわからない教材に金を出すのは・・・」

その気持ちもよくわかります。

ではこれから、少しだけ内容を具体的にお教えします。その内容を、判断の材料にしてみてください。

多分、今までどこにも書かれたりしたことのなかった内容だと思いますよ。

- ネイティブにしか感じることのできない、**I'm from Canada.の持つ隠されたニュアンス**とは？(教材1、p.p.12-13)
- 固有名詞の前に**a**がつくケースと、そのときの気持ちとは？(教材1、p.15)
- **Getとtakeは、実際に動きにするとどう違うのか？**(教材1、p.16)
- 学校や英会話スクールでは絶対に教えられてこなかった、**Notの本当の働き**とは？(教材1、p.24)
- ネイティブなら当然感じる、**He keeps three dogs.とHe has three dogs.と**いう文、**愛犬家なのはどっち？**(教材1、p.p.28-29)
- 日付の前にはなぜ**on**がつくのか？(教材1、p.40)
- ネイティブは「言う」とは感じない、**sayの本当の意味**とは？(教材1、p.45)
- 日本人にはなかなか使い分けが難しい、**comeとgoの超簡単な使い分け方**とは？(教材4、p.23)
- ネイティブにしかわからない、**toとforとtowardの、本当の使い分け方**とは？(教材7、p.p.8-9)

- 日本人は絶対知らない、ネイティブが受動態を使う、本当の理由とは？
(教材10、p.p.5-9)
- ネイティブの中でasはどのような働きをするものと捉えられているのか？(教材10、p.14)
- 学校の先生はみんな間違っていた？「家で」にat homeではなくfrom homeを使うネイティブの感覚とは？(教材13、p.p.23-25)
- 「日本人は何を言っているかわからない」とネイティブに言われる、その理由とは？(教材11、p.5-6)
- Notとは全く違うイメージ？ネイティブが捉えるNoの本当の働きとは？
(教材11、p.p.7-10)
- 英語が完璧でも読めない英文が絶対に出てくる、その理由とは？そしてその解決法とは？(教材11、p.p.12-13)

などなど、とてもここには書ききれないほどの、「ネイティブに迫る秘密」が書かれています。

英語に真剣で、なおかつここまで読んでくれたあなたのことです。

必ず、あなたの望む結果が出せる教材であると、僕は確信しています。そして何より、あなた自身、そう思っているはずです。

なぜなら、あなたがもつめる、「英語をマスターする」というゴールは、この教材から最も確実に、最も短期間で得られるのですから。

是非、今すぐに「仲間に入りたい」という連絡をください。

Feel
お申し込みはこちら

何で「今すぐ」でないといけないのか？

実は、これにはきちんとした理由があります。

僕が主催するこのInner Circleはおかげさまで非常に好評です。

告知後2日間で計300人以上の方がメンバーになりました。

そして一週間後には300人が400人以上に膨れ上がっていました。

皆さんとても熱心で、メキメキ効果も現れており、僕としても本当にうれしい限りです。睡眠時間を大幅に削ってがんばっている甲斐があります。

ところが。

人数の増加に伴って、僕の方がメンバーの方に割ける時間が少なくなってきました。

極力メールの返信もしていますが、だんだん遅れがちになってきている感は否めません。

僕らは、通信教育業者ではないのです。

英語に真剣な人たちが集い、僕とともにダントツのスピードで英語をマスターしていくための、Inner Circleなんです。

大量の人間を機械で管理して、一気に処理するなんてことはできないし、したくもない、そんな人間くさい集団なのです。

なのにこの現状。

このままでは、せっかく僕を信頼してくれてメンバーになってくださった方に申し訳が立ちません。

そこで、2005年、12月31日午後11時59分をもって、Inner Circle新規メンバー受付を、完全にストップしようということに決めました。

残り枠はあと342名ですが、この枠が埋まればそれ以前に打ち切り、埋まらなくても12月31日午後11時59分には打ち切ります。

募集再開の予定はありません。

完全に私塾化し、紹介のみで新規のメンバーを求めていくつもりです。

要望があまりに多ければ一般公開をすることも考えられますが、今のところ

あと半年はその予定がないということはお伝えしておきます。

ですから、もし興味があるならば、「今すぐ」連絡が欲しいと言ったわけです。

実は。

あなたが今すぐ決断し、幸運な342人までに入った暁には、おめでとう&ありがとうございますの気持ちとして、僕からのスペシャルプレゼントがあります。

1. メルマガのバックナンバー1～30をまとめた特別レポート(1050円相当)。

バックナンバーをここにレポート化しました。別のフォームから希望者の方全員に差し上げるものは1号1号配信していくメルマガスタイルです。でも、「記念にまとめたい」という要望も少なからずあったので一応作りました。記念に持っていてください。

2. 会員限定ニュースレター(月々3150円相当=1年で37800円相当)

このニュースレターは結構すごいものになっています。

- 僕のオフラインでのイベント情報(このニュースレターのみでのお知らせです)。
- 各種音声ファイルのお届け。
- 英語学習のヒント。
- 会員の方の疑問とその答え。
- 発展的内容の解説。
- 最新海外事情。
- 教材のテーマに即した最新の英文のアップデート。

などなど・・・。

今までのニュースレターの内容の一部を紹介すれば、

- atとbyの感覚的な違い、そしてその使い分け方
- 単語暗記が嫌いな人のための処方箋
- 復習の目安
- give to me a cakeはどのように不自然なのか？
- I stopped smoking.とI stopped to smoke. の本当の違いとは？

などなどです。

このような内容が盛り込まれた、会員限定、完全独自配信のニュースレターが、月に2～4回ほど、あなたのメールボックスに、そして時には実際の郵便箱に届きます。

この教材に申し込まれると、そのためにかかる費用は一切無料、このニュースレターの購読料も一切無料になります。

3. 毎月の教材の「単語」を集めた『イメージ英単語帳(PDF形式)』(月々1050円＝1年で12600円)

これは、何百人もの人を感動させ、目からうろこを何十枚と剥がれ落ちさせている僕の単語解説集です。

今までのように「日本語訳」と「2, 3個の例文」がポンとおいてあるものとは一線を画します。

「ネイティブは一体どのようなイメージでこの単語を使っているのか？」ということにのみ焦点を絞り、多いときでひとつの単語あたり5ページ程度解説しているときもあります。

この「真の」単語解説のおかげで英会話が楽になった人は数知れず。

それを毎月の教材の単語を集めて、単語帳のようにしました。

もはや辞書。

夜も眠れなくなるほど面白いと思いますよ。はっきり言って、超自信作です。

幸運な342人にはいることが出来れば、これら51450円相当のプレゼントを差し上げたいと思います。

これから一年間、ともに英語を学んでいく「仲間」として、このInner Circleに歓迎したい気持ちだと思ってください。

しかし、そんなことはないと思っていますが、あなたが万が一以下のような人である場合は、メンバーになることをお断りしなくてはなりません。

-
1. この手紙の内容に納得がいかない。
 2. 努力しないで英語をマスターしたい。
-

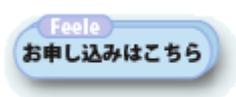
当てはまらないですよね・・・？

では、今すぐ下のボタンをクリックして僕に連絡をください！

今回、銀行振り込みに限り、特別に3回の分割払いまで用意してあります。

分割払いは14000円×3ヶ月になります(一括のときよりも合計で210円高くなっております)。

あなたからの連絡を、心よりお待ちしております。



P.S.申し込みは、

- (1) あと先着342人
- (2) 12月31日午後11時59分

のどちらかの条件を満たすまでです。どちらかを満たした時点で、この教材は二度と一般に出ることはなくなってしまうかもしれません。

この時期、クリスマスや忘年会等、色々と支出の多い時期だと思いますが、少しだけ散財を押さえることをお勧めします。

この教材でしか知ることのできない「ネイティブの英語感覚」をマスターできるチャンスは、あと少ししかありません。

P.P.S.今なら総額51450円相当のスペシャルプレゼントがついてきます。

あなたが今メンバーになれば、このプレゼントを、歓迎のしるしとして差し上げます。

P.P.P.S.全額返金制度のことを忘れないでください。120日間一生懸命勉強してみたけれどどうしてもこの教材はあわないな、と感じられたら、僕に直接連絡ください。すぐさま全額お返しいたします。返品義務もありません。

また、銀行振り込みに限り、3回の分割払いもあります。

よければご利用ください。

P.P.P.P.S. とにかく英会話に特化して習得したい場合は、[こちら](#)へどうぞ。

P.P.P.P.P.S.「完璧」を目指したいのなら、[こちら](#)へどうぞ。

[>ホーム](#) [>お問い合わせ](#) [>プライバシーポリシー](#)
[>特定商取引に関する法律に基づく表示](#)

Copyright(c) 2005 feelenglish.inc All rights Reserved